

令和8年度前期 他大学既修得単位の認定申請に関する注意事項

1 スケジュール

- ・申請期間 令和8年3月9日(月)～3月10日(火) 23時59分(時間厳守)
※成績証明書が間に合わず申請できない場合は、必ず教務担当へ連絡すること。
- ・結果開示 令和8年4月10日(金) YCU-Board

2 申請書・資料について

One Drive [他大学単位認定](#)からダウンロード

3 申請書類提出先・提出方法

メール提出 cscinfo2@yokohama-cu.ac.jp または One Drive
※資料「他大学単位認定申請の仕方」参照

4 提出書類

(1) 単位認定申請書
One Drive から申請書をダウンロードし、必要事項を記入する。
(2) 成績証明書の原本(英文または和文)
成績証明書が他言語の場合は和訳を添付して提出する。成績証明書が web のみで紙媒体の証明書がない場合は、留学先の大学へメールで問合せ、そのメール回答も提出すること。
①ECTS・UCTS 記載のある英文の証明書は証明書のみ提出。別途説明がある場合は併せて提出。
②ECTS・UCTS の記載がない場合は、留学先大学が発行する ECTS・UCTS 換算表または大学 HP の単位の説明または当該大学からのメールでの説明文等を併せて提出。
③留学先大学が ECTS・UCTS を採用していない場合は下記を提出する。 <ul style="list-style-type: none"> ・本学読替科目の授業時間と同等以上の授業時間が明記されている資料。(本学2単位は 90分×15回(1350分) 授業時間を満たしていない場合は申請不可。授業時間に授業外でのビデオ視聴・グループワーク・課題学習が含まれている場合は実際の講義時間(座学)のみを記載すること。 ・シラバスや成績証明書に明記されている場合はその箇所にマーカーを引くこと。 ・授業回数が明記されていない場合は、授業スケジュール等を別途提出すること。
※資料「交換留学成績証明書提出のフローチャート」参照。
※ 本学2単位=4 ECTS、本学2単位=3 UCTS となる。(8 ECTS で本学2単位科目2科目分)
(3) 成績評価基準が確認できる資料
成績証明書に明記されている場合は不要。
(4) シラバス(既修得科目の授業内容と授業時間が確認できる資料)
余白には必ず申請者の氏名・読み替え科目名を記入し、既修得科目名にマーカーを引くこと。また、英語以外の言語は和訳のシラバスを、英訳がない場合は必要箇所の和訳を添付する。 (不明な場合は、審議対象外となる。)
(5) 授業で使用したテキスト・ノート等
授業のノートやプリント、スライド等、授業内容が確認できる資料を提出する。テキストの必要箇所が多い場合は、テキストに氏名を記載し、教務担当へ提出する。(審査結果開示後に返却。)
※授業終了後に削除される場合や留学期間終了で閲覧できなくなる場合があるので、あらかじめ保存しておくこと。

5 申請の注意事項

(1) 以下の場合の申請は除く	
<ul style="list-style-type: none"> ・休学中 ・学則に定める留学中(留学身分の場合、帰国後は可) 	
(2) 単位認定申請数	
申請により認定された科目の単位は、各学期の履修上限単位数 24 単位に算入しない。(認定単位数上限は 30 単位)	
(3) 申請できる既修得科目について	
<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、申請したことが無い既修得科目とするが、読替科目が「否」の判定だった場合、次回申請期間に異なる読替科目で再申請することは可能。(再度資料の提出が必要。) ・1度、成績のついた科目の再申請は認めないので熟考して申請すること。(ex. 自由科目で単位認定されたが、改めて「特別講座(留学科目・共通教養)」で申請しなおしを希望) ・添付資料の「科目一覧表」をよく見て、申請可能科目を確認すること。(他学部の専門科目や大学院科目は申請不可) 	
(4) 申請時期について	
申請は在学中であれば時期、回数は問わないが、履修計画上、早めの申請を推奨する。	
(5) 読替科目、海外留学科目、自由科目について	
<ul style="list-style-type: none"> ・読替科目 	申請可能な本学読替科目は共通教養科目、全学開放科目、所属科目の専門科目で、授業内容が一致するかをシラバスで確認すること。
<ul style="list-style-type: none"> ・海外留学科目 	本学読替科目と一致しない場合は「特別講座(留学科目・共通教養)」、「特講(各学部留学科目)」として申請が可能。ただし、「特講(各学部留学科目)」は授業内容が各学部に合う科目であること。(ex. 「特講(国際商学部留学科目)」に「イタリアの芸術」は不可) 本学読替にあたらぬ既修得科目すべてが「海外留学科目」で認定されるわけではないので、注意して申請すること。
<ul style="list-style-type: none"> ・自由科目 	上記2科目にあたらぬ場合は「自由科目」として申請が可能。ただし、卒業必要単位には算入されない。
<p>※1回の申請で、①本学読替科目、②読替科目が否の場合は、海外留学科目で再審査の申請が可能。 ただし、後期申請の4年生で卒業予定の場合は、①本学読替科目、②読替科目が否の場合は、海外留学科目で再審査、③海外留学科目も否の場合は自由科目で再審査の3段階の申請が可能。</p> <p>※申請後の変更は認めない。(ex. 海外留学科目での再審査の取消。)</p> <p>※1度、成績のついた科目の再申請は認めない。(ex. 自由科目で単位認定されたが、改めて「特別講座(留学科目・共通教養)」で申請しなおしを希望。)</p>	
(6) 共通教養科目への読み替えについて	
<p>【読み替え対象科目群】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎科学講義 ・初習外国語 ・実践科目 ・情報関連基礎科目(データサイエンス学部は不可) <p>【読み替え対象外科目群 (申請不可)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合講義 ・多文化交流ゼミ ・Advanced Practical English 	

(7) 初習外国語の飛び級申請について

飛び級科目が認定された場合は、遡っての科目は履修不可。(資料「初習外国語の単位認定申請について」参照)

- ・語学科目は1単位1350分なので4ECTSが必要。初習外国語「教養基礎Ⅰ・Ⅱ」、「教養実践」の授業時間は3単位4050分なので12ECTSが必要。
- ・既修得科目を初習外国語ではなく、「特講(留学科目・共通教養)」で申請する場合は2単位相当の8ECTSが必要。

(8) 専門科目への読み替えについて

下記科目は申請不可。

- | | | |
|------------|---|------------|
| 国際教養学部 | ・「特講(国際教養学部留学科目)」以外の実験実習科目群 | ・卒業研究関連科目群 |
| | ・「特講 (Sustainable Urban Development)」(全学開放科目) | |
| 国際商学部 | ・専門教養ゼミ | ・卒論演習 |
| 理学部 | ・実験実習科目群 | ・卒業論文 |
| データサイエンス学部 | ・専門領域演習 | ・卒業研究 |

(9) 前提科目が設定されている科目の認定について

申請希望科目に前提科目があり、その前提科目が未修得でも、単位認定申請は可能。認定された場合は、その科目に関してのみ前提科目履修は免除となる。

(10) 認定された科目の成績について

認定された科目の成績は、「他大学認定」と表記され、GPA算出の際の分母・分子から除く。

【問合せ先】

教育推進課教務担当

Mail : cscinfo2@yokohama-cu.ac.jp

Tel : 045-787-2042, 2050